

第106期 中間株主通信

2020年4月1日 — 2020年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
決算ハイライト	3
トピックス	5
会社情報／株式情報	6





コロナ禍終息が見えないまま不透明な経済環境が続きますが、将来を見据えた積極的な施策を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第106期上期(2020年4月1日から9月30日まで)の経営成績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。今後も引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 朝倉 研二



上期の概況をお聞かせください。



新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益となりましたが、持続的な成長への投資に取り組んでいます。

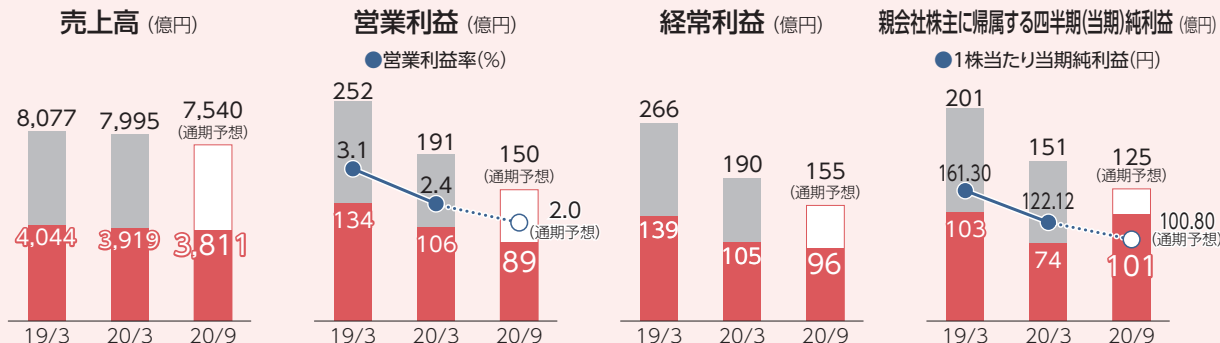
上期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が依然として深刻なものの、早期に経済活動を再開した中国では景気回復傾向が持続しており、各国で濃淡が見られました。日本経済は徐々に経済活動が再開されているものの、本格的な回復には至っておらず、依然として厳しい状況にあります。

このような中、当上期の連結売上高は、国内販売が1,661億3千万円(前年同期比18.0%減)、海外販売は、前期に買収した米国Prinova社の売上が加わったことから2,150億2千万円(同13.6%増)となり、全体で3,811億5千万円(同2.7%減)となりました。

営業利益は、減収による影響に加え、デジタルトランスフォーメーション(DX)等の将来を見据えた基盤強化のための費用増等もあり89億3千万円(同15.9%減)、経常利益は96億9千万円(同8.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、保有株式の

業績 Review

■ 上期
■ 通期



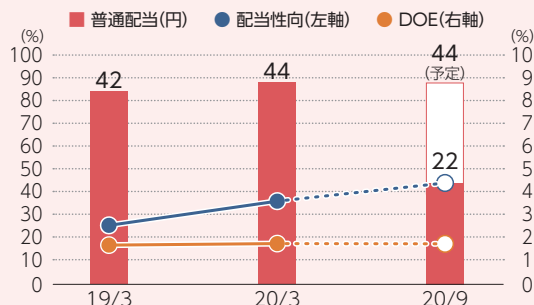
売却に伴う利益を計上した影響等により、101億8千万円(同37.2%増)となりました。

Q 通期の見通しはいかがですか。

A 本格的な回復は次年度以降と予想し
期初の業績予想を据え置きます。

上期は中国の想定より早い経済活動の再開、新型コロナウイルス感染症拡大による供給不安からの一時的な需要拡大等により、前年同期比では減収減益ですが、期初の予想に対しては比較的順調に推移しました。しかし、足元では新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が続いており、本格的な回復基調へのシフトは2021年度以降に持ち越されると想定しています。また、持続的成長に向けたDX推進への投資等の費用の増加を見込んでおり、現時点では期初に公表した業績予想を変更せず、連結売上高は7,540億円(前期比5.7%減)を予定しています。利益面についても、期初の予想通り、営業利益は150億円(同21.7%減)、経常利益は155億円(同18.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は125億円(同17.5%減)を見込んでいます。

利益分配に関する基本方針



Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 社会・人々の行動様式が加速度を上げて変化
する中、様々な潜在的ニーズを捉え、新たな
提供価値を創出します。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界規模で社会、経済状況は劇的に変化しています。私たちNAGASEグループは、この環境の変化を変革の好機と捉え、新たな提供価値の創出をスピーディーに進めていきます。

食品素材事業では、フード イングリディエント事業部を立ち上げました。前期のPrinova社の子会社化を足掛かりに、商品群・サービスを拡充しながら、グローバル展開を加速させます。

次世代情報通信関連事業では、NAGASEグループが蓄積してきたケミカル素材における知見と加工技術を中心とした強みを活かし、5G、さらには6Gまでを見据え、最先端インフラにアプローチしていきます。

さらに、DX推進における取り組みとして、従前よりAIや最先端のデータ処理技術を活用して新しい素材を効率的に探索する「マテリアルズ・インフォマティクス」の開発を進めておりましたが、2020年11月より製品名「TABRASA」として、サービスの提供を開始しました。高機能素材やバイオケミカルを始めとした幅広い顧客・サプライヤー向けに展開し、課題解決やイノベーションの推進をサポートしていきます。

株主の皆様におかれましては、当社グループの将来性にご期待いただき、今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別売上高構成比

■ 前期 ■ 通期

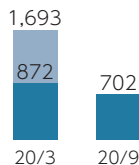
機能素材 18.4%

売上高 702億円
営業利益 20億円

上期の状況

国内外における自動車生産台数の減少を受け、塗料原料およびウレタン原料の売上が減少、また、エレクトロニクスケミカルや加工剤原料の売上也減少し減収。

売上高 (億円)



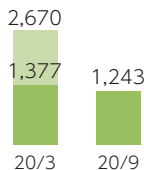
加工材料 32.6%

売上高 1,243億円
営業利益 34億円

上期の状況

新型コロナウイルス感染症の影響が樹脂ビジネスを中心に広範に及び、国内の顔料・添加剤、情報印刷関連材料の売上が減少、また、国内およびアセアンを中心にOA・ゲーム機器業界向けの合成樹脂の売上也減少し減収。

売上高 (億円)



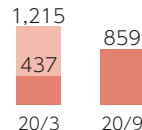
生活関連 22.5%

売上高 859億円
営業利益 30億円

上期の状況

トレハ®、AA2G®および製剤事業の売上が減少したものの、医薬品原料・中間体、医用材料や衛生商品関連の売上が増加し、前第2四半期に買収したPrinovaグループの売上が加わり、全体として増収。

売上高 (億円)



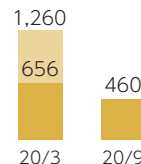
モビリティ・エネルギー 12.1%

売上高 460億円
営業利益 1億円

上期の状況

グレーターチャイナ以外の地域において自動車生産台数が減少し、国内におけるカーエレクトロニクス関連部材、グレーターチャイナ以外の地域の樹脂ビジネスの売上が減少し減収。

売上高 (億円)



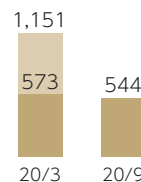
電子 14.3%

売上高 544億円
営業利益 35億円

上期の状況

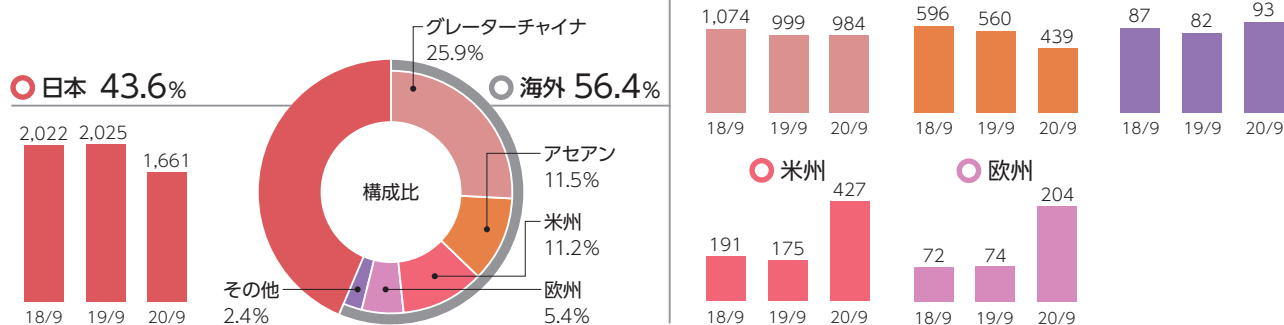
半導体中間工程用の精密加工関連の売上が増加したものの、ディスプレイ材料関連の売上が微減、フォトリソ材料関連、重電・弱電向け等の変性エポキシ樹脂関連、装置関連の売上が減少し減収。

売上高 (億円)



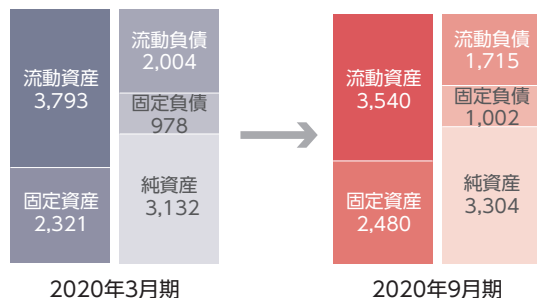
売上高 3,811億円
営業利益 89億円

地域別売上高構成比 (億円)

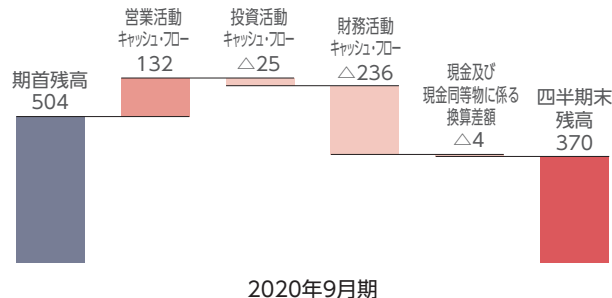


連結財務諸表サマリー (億円)

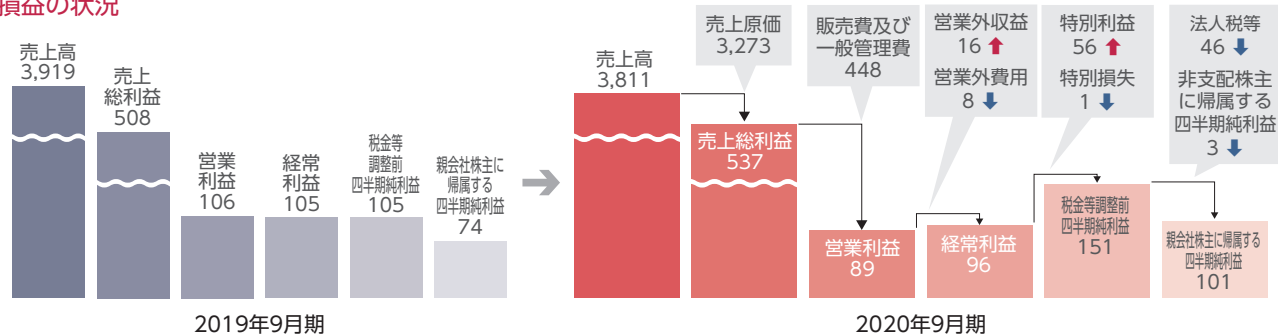
資産・負債・純資産の状況



キャッシュ・フローの状況



損益の状況



TOPICS
1

サステナビリティ経営の推進に向けて

世界では環境問題や気候変動による自然災害など、人々の安心で安全な生活を脅かす課題に直面しており、持続可能な社会の実現には、企業が果たすべき役割はさらに重要になっています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大も影響し、サステナビリティと経営戦略の統合が期待されています。

そのような中、当社は、2020年6月に社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設立し、グループ全体の方針策定、推進体制の構築と整備、施策のモニタリング、啓蒙活動を行っています。

当社グループの経営理念に掲げる「誠実正道」の精神や、ビジョンに掲げる「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現は、サステナビリティに通じる考え方です。当社グループは、地球上の社会・環境課題の解決に貢献する企業活動を継続することにより、当社グループの持続的な成長を実現していきます。

TOPICS
2

Prinovaグループのスポーツニュートリションへの取り組み

当社は2019年にビタミン、アミノ酸や甘味料など2,000種類以上の食品素材を取り扱う米国 Prinova Group, LLC(以下、Prinova社)を子会社化しました。このPrinova社傘下のArmada Nutrition LLC(以下、Armada社)は、スポーツドリンクやサプリメントなど、スポーツをする人々のために開発された食品である「スポーツニュートリション」のパウダー製品に特化した受託製造事業を展開しています。Armada社は食品業界の深い知識を持つ専門チームを擁し、製品コンセプトの企画・立案から最終製品の製造までを一貫して提供できる、米国を代表するパウダー製品受託製造会社です。

また、今年度より、さらなる事業拡大を図る一環として、パウダー製品のカプセル化を新規事業として立ち上げ、多彩な製品ラインアップとサービスを提供しています。今後、当社グループのネットワークを活用しながら、ビジネス規模の拡大を目指します。

TOPICS
3

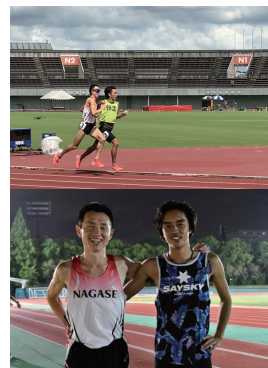
当社社員の和田伸也選手 日本パラ陸上、関東パラ陸上でアジア新記録

当社の社員である和田伸也選手(以下、和田選手)が第31回日本パラ陸上競技選手権大会(2020年9月6日)の男子1,500m(T11)および第25回関東パラ陸上競技選手権大会(2020年11月7日)の男子5,000m(T11)の両大会で優勝し、いずれもアジア記録を更新しました。

和田選手は、過去にも2012年ロンドンパラリンピック5,000mで銅メダル、2016年リオパラリンピック1,500m、5,000m、マラソンの3種目で入賞、2019年ドバイ世界パラ陸上競技選手権大会では1,500m(T11)で4位に入るなど、数多くの実績を残し、東京パラリンピックへの推薦内定も得ています。

当社は今後も、世界の舞台で活躍する和田選手をサポートしていきます。

1977年生まれ。大阪府出身。関西大学在学中に視力を失う。28歳から本格的に競技をはじめ、プロフィール 2009年度から日本ブラインドマラソン協会強化指定選手。フルマラソン(T11)の日本記録保持者でもあり、大阪スポーツ賞優秀選手賞、京都市スポーツ栄誉賞など数々の賞を受賞。



(左)和田選手
(右)伴走者 長谷部匠氏

会社概要

商号	長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
創業	1832年(天保3年)6月18日
設立	1917年(大正6年)12月9日
資本金	9,699百万円
主要な事業所	大阪本社、東京本社、名古屋支店、 ナガセR&Dセンター(兵庫県神戸市)、 ナガセアプリケーションワークショップ(兵庫県 尼崎市)

取締役・監査役

取 締 役	代表取締役会長	長瀬洋
	取締役副会長	長瀬玲二
	代表取締役社長	朝倉研二
	代表取締役	若林廊
	取締役	池本眞也
	社外取締役	家守伸正
	社外取締役	伊地知隆彦
監 査 役	社外監査役(常勤)	白藤信之
	監査役	古川方理
	監査役	菅野満
	社外監査役	松井巖

株式の状況

発行済株式の総数	127,408,285株
株主数	23,522名

大株主の状況

株主名	当社への 出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,395	7.58
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,911	4.77
三井住友信託銀行株式会社	5,776	4.66
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	5,687	4.59
株式会社三井住友銀行	4,377	3.53
日本生命保険相互会社	3,589	2.89
長瀬令子	3,519	2.84
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3,237	2.61
長瀬産業自社株投資会	2,877	2.32
株式会社長瀬舜造	2,688	2.17

※ 持株比率は自己株式(3,396,894株)を控除して計算しております。

基本理念

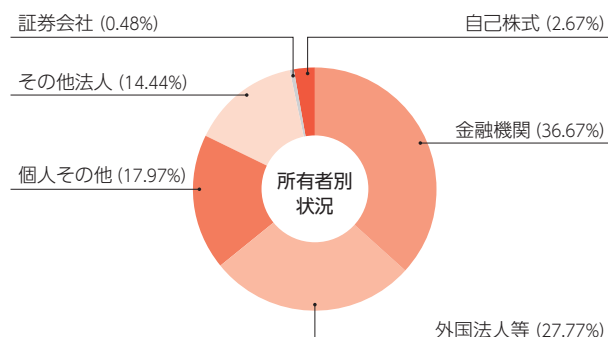


NAGASE経営理念
社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、社員の福祉の向上と社会への貢献に努める。

NAGASEビジョン
社員の一人ひとりが、日々の活動で「見つけ、育み、広げる」を体現することにより、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献する。

- NAGASEウェイ**
- 常に顧客指向であれ
 - 常に独創的な挑戦者であれ
 - 常にグループ力の活用を考えよ
 - 常にグローバルに考えローカルに行動せよ
 - 常にシステムティックに考えスピーディーに行動せよ

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して て定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)
☎ 0120-782-031

(照会先URL)
<https://www.smb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法
電子公告の方法により、当社ウェブサイトにて行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数
100株

株主に対する特典
毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元以上保有の株主を対象に、保有期間に応じて、カタログギフトを贈呈。

上場証券取引所
東京証券取引所 市場第一部

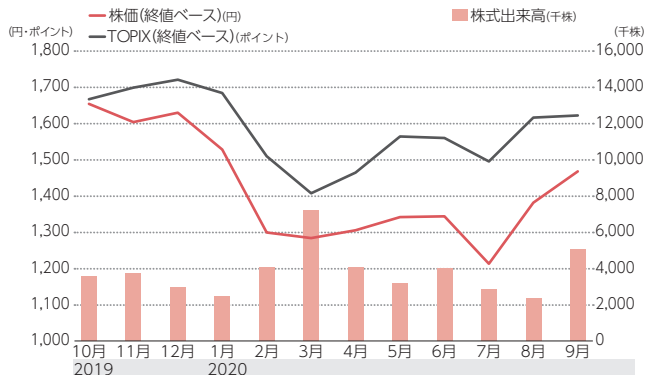
● 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

● 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株価／出来高の推移 (2019年10月1日～2020年9月30日)



2020年度企業広告

2019年度に引き続き、日本在住のロシア人イラストレーター、イリヤ・クブシノフ (Ilya Kuvshinov) 氏のイラストを採用しております。「未来の声を聴け」をテーマに、真っ直ぐに未来を見据える瞳の強さを強調するとともに、風になびく髪で躍動感を表現しております。新幹線の駅や空港、新聞などに掲出しておりますので、ぜひご覧ください。

1単元(100株)未満の株式を保有される株主様へ

2021年3月31日現在の株主名簿より、株主優待制度における長期保有条件を1単元以上の株式保有とさせていただきます。

詳細は同封の別紙もしくは当社ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.nagase.co.jp/assetfiles/tekijikajiji/20201002.pdf>



本冊子掲載情報の詳細については当社ウェブサイトをご参照ください

<https://www.nagase.co.jp/>

長瀬産業

検索

